



GUI を使用したドメインの構成

- [GUI を使用したドメインの構成 \(1 ページ\)](#)
- [GUI を使用したレイヤ 3 ドメインの作成 \(3 ページ\)](#)
- [GUI を使用した既存の L3Out ドメイン VLAN プールの VLAN 範囲の構成 \(5 ページ\)](#)
- [GUI を使用した物理ドメインの作成 \(5 ページ\)](#)
- [GUI を使用した既存の物理ドメイン VLAN プールの VLAN 範囲の構成 \(6 ページ\)](#)
- [GUI を使用した VMware VDS の VMM ドメインを作成する \(7 ページ\)](#)
- [GUI を使用した既存の VMM ドメイン VLAN プールの VLAN 範囲の構成 \(8 ページ\)](#)

GUI を使用したドメインの構成

このセクションでは、ドメインを構成するために必要な実行するタスクの概要を説明します。このドキュメントでは、インターフェイスアクセスポリシーと AEP (Attachable Entity Profile) の構成方法については説明しません。これについては、他のドキュメントを参照してください。外部ルータが接続されるインターフェイスのインターフェイスアクセスポリシーに AEP がすでに関連付けられていることを前提としています。AEP には、このセクションで構成または変更したドメインを含める必要があります。

- レイヤ 3 ドメインを作成し、フローティング L3Out に使用する静的 VLAN 範囲に VLAN プールを関連付けます。

手順「[GUI を使用したレイヤ 3 ドメインの作成 \(3 ページ\)](#)」を参照してください。



(注) 使用するレイヤ 3 ドメインをすでに作成しているが、フローティング L3Out 用に利用可能な静的 VLAN 範囲がない場合は、手順「[GUI を使用した既存の L3Out ドメイン VLAN プールの VLAN 範囲の構成 \(5 ページ\)](#)」を使用して静的 VLAN 範囲を持つ VLAN プールを追加します。

- 物理ドメインまたは VMware VDS Virtual Machine Manager (VMM) ドメインを作成し、フローティング L3Out 用に使用する静的カプセル化 VLAN 範囲を含む VLAN プールを指定します。物理ドメインまたは VMM ドメインの使用は、外部ルータの特定のフォームファ

クタによって異なります（物理外部ルータと仮想外部ルータを組み合わせで展開することも可能です）。

物理ドメインの作成については、手順「[GUI を使用した物理ドメインの作成（5 ページ）](#)」を参照してください。

VMM ドメインの作成については、手順「[GUI を使用した VMware VDS の VMM ドメインを作成する（7 ページ）](#)」を参照してください。



(注) 使用する VMM ドメインまたは物理ドメインをすでに作成しているが、フローティング L3Out に利用可能な静的 VLAN 範囲がない場合は、手順「[GUI を使用した既存の VMM ドメイン VLAN プールの VLAN 範囲の構成（8 ページ）](#)」を使用して静的 VLAN 範囲を持つ VLAN プールを作成します。

ドメイン構成には、次の考慮事項があります。

- すべてのドメインに関連付けられた VLAN プールには、静的 VLAN 範囲が含まれている必要があります。ドメインごとに異なる VLAN プールを定義することも、すべてのドメインで使用される共通の VLAN プールを定義することもできます。また、VLAN 範囲は、VMM ドメインまたは物理ドメインの VLAN プールと同じである必要があります。たとえば、L3Out ドメインと Virtual Machine Manager (VMM) または物理ドメインの VLAN 範囲は、VLAN 200～209 を含む必要があります。
- 物理ドメインを使用したフローティング L3Out には、Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) リリース 5.0(1) 以降が必要です。
- それが物理ドメインであり、フローティング IP アドレスが、物理ドメインに加えてリーフポートがフローティング L3Out に関連付けられた L3Out ドメインを持つ AEP を使用する場合に展開されます。

図 1 : フローティング L3Out の L3Out ドメインと VMM ドメインの使用（3 ページ）次に、フローティング L3Out の L3Out ドメインと VMM ドメインを持つ AEP の例を示します。

図 1: フローティング L3Out の L3Out ドメインと VMM ドメインの使用

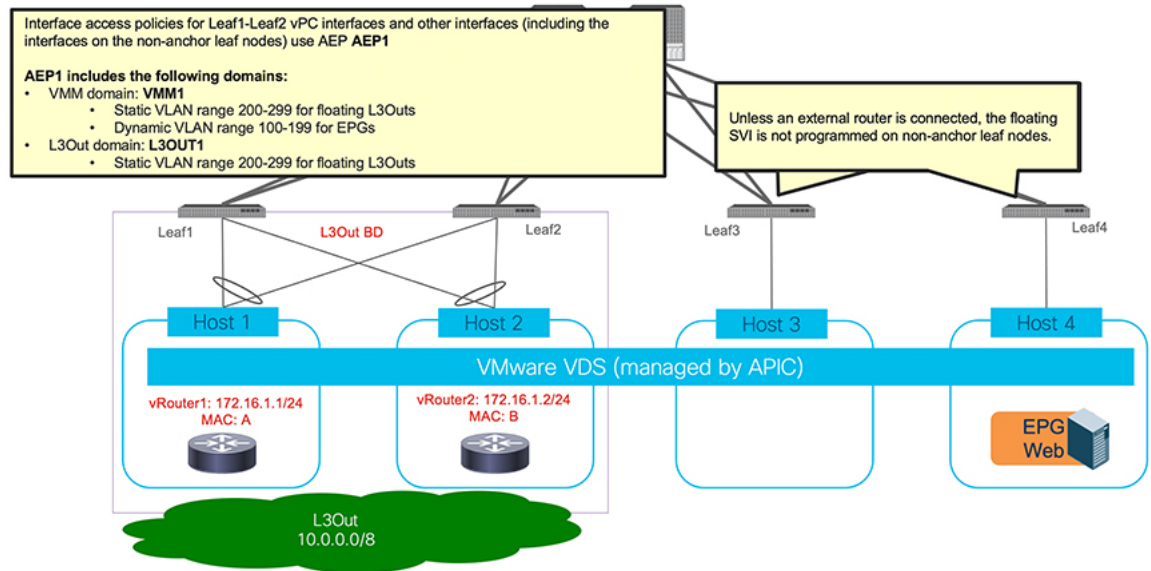
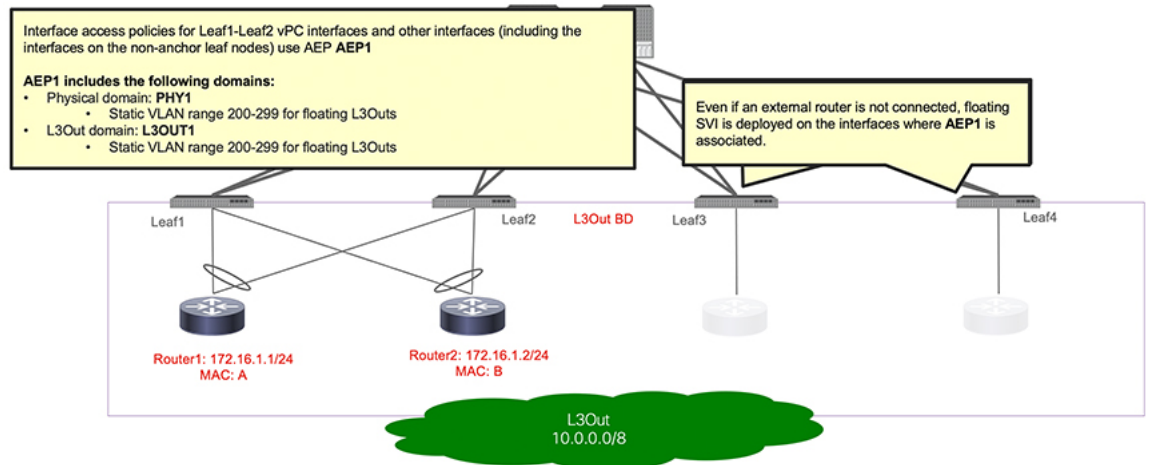


図 2: フローティング L3Out の L3Out ドメインと物理ドメインの使用 (3 ページ) 次に、フローティング L3Out の L3Out ドメインと物理ドメインを持つ AEP の例を示します。

図 2: フローティング L3Out の L3Out ドメインと物理ドメインの使用



GUI を使用したレイヤ 3 ドメインの作成

レイヤ 3 外部ネットワーク接続 (L3Out) を作成する前に、レイヤ 3 ドメインを作成します。

手順

ステップ 1 Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) にログインします。

ステップ 2 [ファブリック (Fabric)] > [アクセス ポリシー (Access Policies)] > に移動します。

ステップ 3 [ポリシー (Policies)] ナビゲーションウィンドウで、[物理ドメインと外部ドメイン (Physical and External Domains)] を展開し、[L3 ドメイン (L3 Domains)] フォルダを右クリックして、[L3 ドメインの作成 (Create L3 Domain)] をクリックします。

ステップ 4 [vCenter ドメインの作成 (Create vCenter Domain)] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

- a) [名前 (Name)] フィールドに、プロファイルの名前を入力します。
- b) [関連付けられたアタッチ可能なエンティティプロファイル (Associated Attached Entity Profile)] ドロップダウンリストで、アタッチ可能なエンティティプロファイルを作成します。

適用可能なエンティティプロファイルを作成する場合は、[適用可能なエンティティプロファイルの作成 (Create Attachable Entity Profile)] ダイアログのフィールドに適切な値を入力します。? アイコンをクリックして、オンラインヘルプファイルの各フィールドの説明を表示します。

(注)

- VMM ドメインを使用したフローティング SVI 展開の場合、インターフェイス (アンカーおよび非アンカー) の AEP には、レイヤ 3 ドメインと VMM ドメインの両方が必要です。

- 物理ドメインを使用したフローティング SVI 展開の場合、アンカーノードインターフェイスの AEP には、レイヤ 3 ドメインと物理ドメインの両方が必要です。

- c) [VLAN Pool] ドロップダウン リストから、[Create VLAN Pool] を選択します。
- d) [VLAN プールの作成 (Create VLAN Pool)] ダイアログボックスで、[名前 (Name)] フィールドに名前を入力します。
- e) [割り当てモード (Allocation Mode)] フィールドで、モードを選択します。
- f) [Encap ブロック (Encap Blocks)] エリアで、[+] (プラス) アイコンをクリックします。
- g) [範囲の作成 (Create Ranges)] ダイアログボックスで、VLAN プールの範囲を入力します。

(注)

この手順の最初にある VLAN プール範囲の構成に関する注記を参照してください。

- h) [割り当てモード (Allocation Mode)] フィールドで、[静的割り当て (Static Allocation)] を選択します。
- i) [OK] をクリックします。
- j) [VLAN プールの作成 (Create VLAN Pool)] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

ステップ 5 [L3 ドメインの作成 (Create vCenter Domain)] ダイアログボックスで [送信 (Submit)] をクリックします。

GUI を使用した既存の L3Out ドメイン VLAN プールの VLAN 範囲の構成

使用するレイヤ3 ドメインをすでに作成している場合は、この手順を使用して、既存のフローティングレイヤ3 外部ネットワーク接続 (L3Out) の VLAN 範囲を構成します。フローティング L3Out を使用するには、正しい設定を持つレイヤ3 ドメインの VLAN プールを構成する必要があります。

はじめる前に

レイヤ3 ドメインを作成しておく必要があります。手順を参照してください。

手順

- ステップ 1 Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) にログインします。
- ステップ 2 [ファブリック (Fabric)] > [アクセス ポリシー (Access Policies)] に移動します。
- ステップ 3 [ポリシー (Policies)] ナビゲーションウィンドウで、[物理ドメインと外部ドメイン (Physical and External Domains)] と [L3 ドメイン (L3 Domains)] フォルダを展開し、[レイヤ3 ドメイン (Layer 3 domain)] をクリックします。
- ステップ 4 中央の [L3 ドメイン (L3 Domain)] 作業ペインで、[VLAN プール (VLAN Pool)] ドロップダウンリストから既存の VLAN プールを選択します。
- ステップ 5 [Encap ブロック (Encap Blocks)] エリアで、[+] (プラス) アイコンをクリックします。
- ステップ 6 [範囲の作成 (Create Ranges)] ダイアログボックスで、VLAN プールの範囲を入力します。
- ステップ 7 [割り当てモード (Allocation Mode)] フィールドで、[静的割り当て (Static Allocation)] を選択します。
- ステップ 8 [OK] をクリックします。
- ステップ 9 [Create VLAN Pool] ダイアログボックスで、[Submit] をクリックします。
- ステップ 10 中央の [ドメイン (Domain)] 作業ペインで、[送信 (Submit)] をクリックします。

次のタスク

[GUI を使用した既存の L3Out ドメイン VLAN プールの VLAN 範囲の構成 \(5 ページ\)](#) または [GUI を使用した既存の物理ドメイン VLAN プールの VLAN 範囲の構成 \(6 ページ\)](#)

GUI を使用した物理ドメインの作成

このセクションでは、Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) GUI を使用した物理ドメインの作成方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** メニューバーで、[ファブリック (Fabric)] > [アクセスポリシー (Access Policies)] をクリックします。
- ステップ 2** ナビゲーションバーから、[物理ドメインと外部ドメイン (Physical and External Domains)] を展開します。
- ナビゲーションバーに [物理ドメイン (Physical Domains)] フォルダが表示されます。
- ステップ 3** ナビゲーションバーで、[物理ドメイン (Physical Domains)] フォルダを右クリックし、[物理ドメインの作成 (Create Physical Domain)] を選択します。
- [物理ドメインの作成 (Create Physical Domain)] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** [物理ドメインの作成 (Create Physical Domain)] ダイアログの各フィールドに適切な値を入力します。
- (注)
- ? をクリックして、オンラインヘルプファイルの各フィールドの説明を表示します。
- ステップ 5** 完了したら、[送信 (Submit)] をクリックします。
-

次のタスク

[GUI を使用した VMware VDS の VMM ドメインを作成する \(7 ページ\)](#)。

GUI を使用した既存の物理ドメイン VLAN プールの VLAN 範囲の構成

物理ドメインの VLAN 範囲を構成するには、次の手順を活用します。正しい設定を持つドメインの VLAN プールを構成する必要があります。前述のように、L3Out ドメイン用に以前に作成した VLAN プールを再利用することもできます。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) にログインします。
- ステップ 2** [ファブリック (Fabric)] > [アクセス ポリシー (Access Policies)] に移動します。
- ステップ 3** [ポリシー (Policies)] ナビゲーションウィンドウで、[物理ドメインと外部ドメイン (Physical and External Domains)] と [物理ドメイン (Physical Domains)] フォルダを展開し、ドメインを選択します。
- ステップ 4** 中央の [物理ドメイン (Physical Domains)] 作業ペインで、[VLAN プール (VLAN Pool)] ドロップダウンリストから既存の VLAN プールを選択します。
- ステップ 5** [Encap ブロック (Encap Blocks)] エリアで、[+] (プラス) アイコンをクリックします。

- ステップ 6 [範囲の作成 (Create Ranges)] ダイアログボックスで、VLAN プールの範囲を入力します。
- ステップ 7 [割り当てモード (Allocation Mode)] フィールドで、[静的割り当て (Static Allocation)] を選択します。
- ステップ 8 [OK] をクリックします。
- ステップ 9 [Create VLAN Pool] ダイアログボックスで、[Submit] をクリックします。
- ステップ 10 中央の [ドメイン (Domain)] 作業ペインで、[送信 (Submit)] をクリックします。

次のタスク

[GUI を使用した既存の VMM ドメイン VLAN プールの VLAN 範囲の構成 \(8 ページ\)](#)。

GUI を使用した VMware VDS の VMM ドメインを作成する

手順

- ステップ 1 Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) にログインします。
- ステップ 2 [仮想ネットワークング (Virtual Networking)] > [インベントリ (Inventory)] に移動します。
- ステップ 3 [インベントリ (Inventory)] ナビゲーションウィンドウで、[VMM ドメイン (VMM Domains)] を展開し、[VMware] を右クリックし、[vCenter ドメインの作成 (Create vCenter Domain)] を選択します。
- または、[インベントリ (Inventory)] ナビゲーションウィンドウで [クイックスタート (Quick Start)] を選択し、中央の作業ペインで [(VMware ハイパーバイザ) vCenter ドメインプロファイルの作成 (VMware hypervisor) Create a vCenter Domain Profile)] を選択することもできます。
- ステップ 4 **Create vCenter Domain** ダイアログボックスで、次の手順を実行します:
- Virtual Switch Name** フィールドに名前を入力します。
 - [仮想スイッチエリア (Virtual Switch Area)] で、[VMware vSphere 分配スイッチ (VMware vSphere Distributed Switch)] を選択します。
 - [関連付けられたアタッチ可能なエンティティプロファイル (Associated Attachable Entity Profile)] ドロップダウンリストで、新しい AEP を作成するか、以前に作成したプロファイルを選択します。
手順については、『[Cisco APIC 基本構成ガイド](#)』の「グローバル接続可能なアクセスエンティティのプロファイルの作成」を参照してください。
 - VLAN Pool ドロップダウンリストで、VLAN プールを選択するか、作成します。
 - [vCenter クレデンシャル (vCenter Credentials)] エリアで [+] (プラス) アイコンをクリックし、[vCenter クレデンシャルの作成 (Create vCenter credential)] ダイアログボックスで次の手順に従います。[名前 (Name)] フィールドに VMware vCenter アカウントプロファイル名を入力し、[ユーザー名 (Username)] フィールドに VMware vCenter ユーザー名を入力し、VMware vCenter のパスワードの入力と確認入力を行ってから、[OK] をクリックします。
 - [vCenter] エリアで [+] (プラス) アイコンをクリックし、[vCenter コントローラの作成 (Create vCenter Controller)] ダイアログボックスで次の手順に従います。VMware vCenter コントローラ名、VMware vCenter のホスト名か IP アドレス、DVS のバージョン、データセンター名 (VMware vCenter で設定さ

れたデータセンター名と一致している必要があります) を入力し、前の手順で作成したログイン情報を選択して、[OK] をクリックします。

- g) 設定に応じて、残りのフィールドに入力します。
- h) **Create vCenter Domain** ダイアログボックスで **Submit** をクリックします。

VMware 作業ウィンドウには、新しく作成された VMM ドメインが表示されます。これは VMware vCenter にプッシュされます。

次のタスク

レイヤ 3 ドメインプロファイルをまだ作成していない場合は作成します。手順「[GUI を使用したレイヤ 3 ドメインの作成 \(3 ページ\)](#)」を参照してください。

GUI を使用した既存の VMM ドメイン VLAN プールの VLAN 範囲の構成

使用する Virtual Machine Manager (VMM) ドメインをすでに作成している場合は、この手順を使用して、既存のフローティングレイヤ 3 外部ネットワーク接続 (L3Out) の VLAN 範囲を構成します。フローティング L3Out を使用するには、正しい設定を持つ VMM ドメインの VLAN プールを構成する必要があります。

始める前に

VMM ドメインプロファイルを作成しておく必要があります。手順「[GUI を使用した VMware VDS の VMM ドメインを作成する \(7 ページ\)](#)」を参照してください。

手順

- ステップ 1 Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) にログインします。
 - ステップ 2 [仮想ネットワーク (Virtual Networking)] > [インベントリ (Inventory)] に移動します。
 - ステップ 3 [インベントリ (Inventory)] ナビゲーションウィンドウで、[VMM Domains] および [VMware] フォルダを展開し、関連する VMM ドメインを選択します。
 - ステップ 4 中央の [ドメイン (Domain)] 作業ペインで、[VLAN プール (VLAN Pool)] ドロップダウンリストから既存の VLAN プールを選択します。
 - ステップ 5 [Encap ブロック (Encap Blocks)] エリアで、[+] (プラス) アイコンをクリックします。
 - ステップ 6 [範囲の作成 (Create Ranges)] ダイアログボックスで、VLAN プールの範囲を入力します。
- (注)
この手順の最初にある VLAN プール範囲の構成に関する注記を参照してください。
- ステップ 7 [割り当てモード (Allocation Mode)] フィールドで、[静的割り当て (Static Allocation)] を選択します。

ステップ 8 [OK] をクリックします。

ステップ 9 [Create VLAN Pool] ダイアログボックスで、[Submit] をクリックします。

ステップ 10 中央の [ドメイン (Domain)] 作業ペインで、[送信 (Submit)] をクリックします。

次のタスク

レイヤ 3 ドメインをまだ作成していない場合は作成します。[GUI を使用したレイヤ 3 ドメインの作成 \(3 ページ\)](#) の項を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。